

富山高岡広域都市圏の人の動き

富山高岡広域都市圏第3回パーソントリップ調査から



富山高岡広域都市圏総合都市交通体系調査会

はじめに

富山市、高岡市をはじめとし、3市4町1村により構成される富山高岡広域都市圏では、パーソントリップ調査を過去2回実施しています（第1回目が昭和49～51年度、第2回目が昭和58～60年度）。そして、将来の総合的な都市交通計画を策定し、交通施設の整備等を進めてきました。

しかし、前回調査から既に16年が経過し、この間のモータリゼーションの進展、公共交通利用者の減少等の「交通情勢の変化」や、少子・高齢化の進展、社会基盤投資の重点化・効率化への要請等の「社会・経済情勢の変化」には著しいものがありました。

そこで、これらの諸情勢の変化をふまえ、また当都市圏の新たな展開を求めて、新たな総合的な都市交通計画を策定する必要性が生じたため、平成11年度から第3回目の調査を実施しています。

このパンフレットは、平成11年10月から12月にかけて実施した家庭訪問調査等の交通実態調査をもとに、現在の交通実態を皆さんに知っていただくために、その概要をとりまとめたものです。

なお、今回の調査から把握された主な交通実態としては、年々増え続ける運転免許保有者数や自動車保有台数を一つの要因として、自動車の利用割合が前回の52.5%から72.2%へと増加し、同様の調査を実施した全国の他都市圏と比べ、最も高くなっていることが挙げられます。そして、このことが公共交通利用者数の減少の要因となっていると推測されます。

最後に、この調査の実施にあたり、当都市圏及び周辺市町村（氷見市をはじめとする4市6町1村）の調査にご協力をいただいた皆さんに厚くお礼申し上げます。

富山高岡広域都市圏総合都市交通体系調査会

目次

1	パーソントリップ調査の概要	1
2	富山高岡広域都市圏の概要	4
3	都市交通の概要	8
(1)	都市圏のトリップ数	8
(2)	交通の目的と手段	10
(3)	市町村間の動き	12
(4)	時間特性	13
(5)	公共交通	14
(6)	自動車交通	16
(7)	高齢者の交通	18
(8)	都心部の交通	19
4	調査票	20

1.

パーソントリップ調査の概要



調査のあらまし

パーソントリップ調査とは

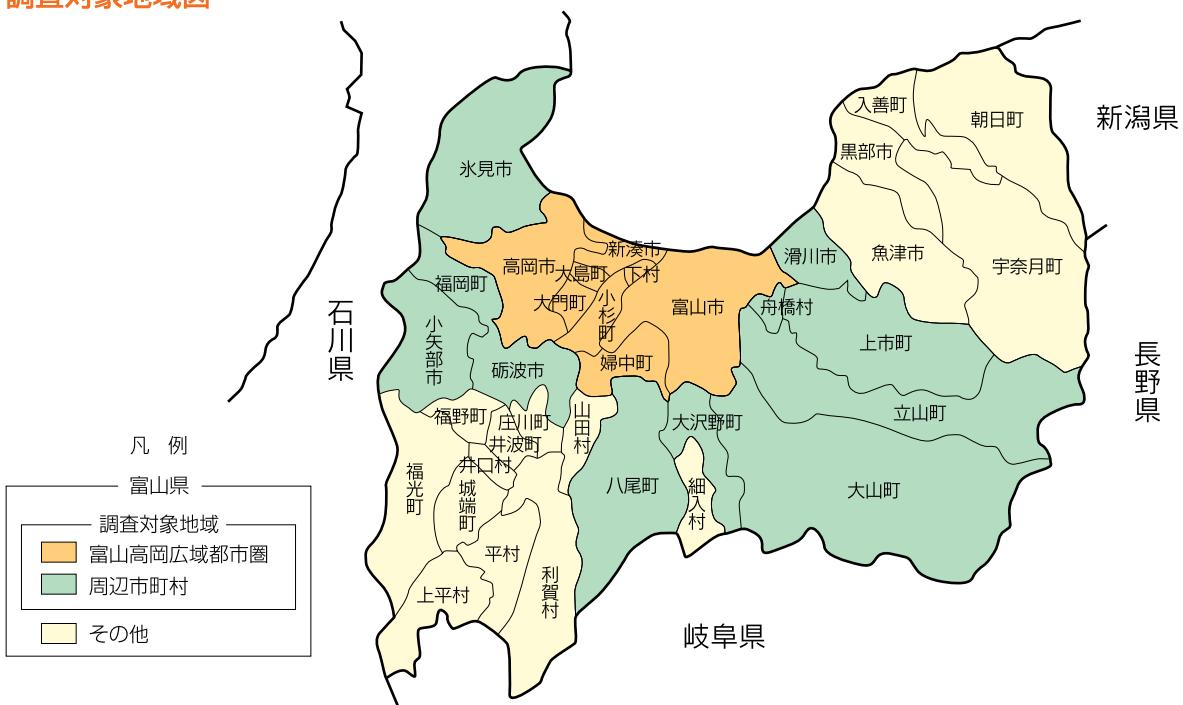
パーソントリップ調査は、交通の主体である人（パーソン）の動き（トリップ）を把握することを目的とし、どのような人が、何の目的で、どこからどこへ、どのような交通手段で、どのような時間帯に動いたかについて、1日のすべての動きをとらえるものです。

そして、この調査結果をもとに、現況交通実態の分析や将来の交通需要の予測を行い、さらに都市の将来像を描き、その土地利用等の計画をふまえたうえで、公共交通、自動車、歩行・二輪車などの交通手段の分担を考慮した将来の総合的な都市交通計画を策定するものです。

調査対象地域

調査対象地域は、富山高岡広域都市圏（富山市、高岡市、新湊市、婦中町、小杉町、大門町、大島町、下村の3市4町1村）及び周辺市町村（氷見市、滑川市、砺波市、小矢部市、大沢野町、大山町、上市町、立山町、八尾町、福岡町、舟橋村の4市6町1村）の7市10町2村です。

調査対象地域図



なお、将来の総合的な都市交通計画は、富山高岡広域都市圏を対象として策定します。

調査対象者

調査対象地域に居住する5歳以上の人（約87.7万人）の約8%にあたる約6.7万人を対象に交通実態調査を行いました。

調査方法

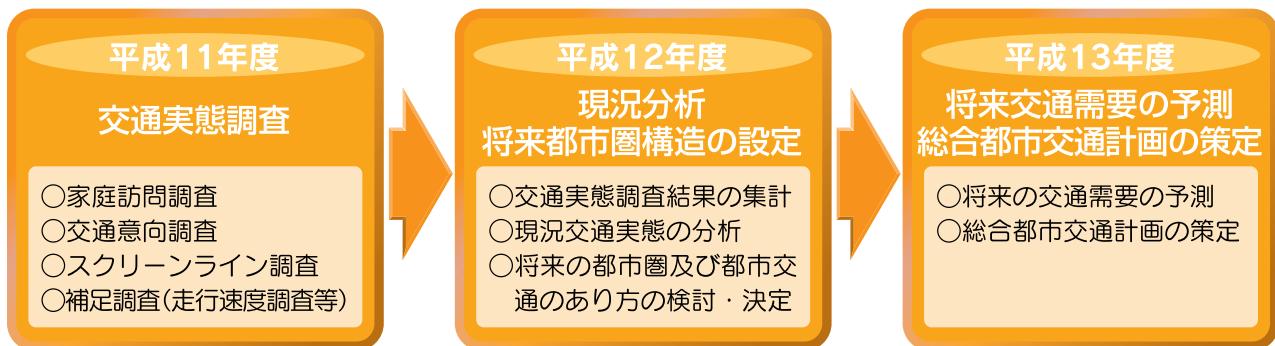
住民基本台帳から無作為に抽出した世帯（約2.3万世帯）に対し、調査員が世帯を訪問し、調査の依頼、説明、そして調査票を配布し、後日再訪問して調査票を回収する方法で、平成11年10月から12月にわたり実施しました。

回収結果

調査票は約5.6万人から回収されました。
(回収率：82.6%、有効抽出率：6.35%)

調査の全体計画

本調査は、将来の総合的な都市交通計画を策定するために、平成11年度から平成13年度までの3箇年の予定で実施しています。



用語の説明

トリップとは

人がある目的をもって、ある地点からある地点へ移動することをいいます。その際、いくつかの交通手段を乗り換えてひとつのトリップとなります。

トリップ数とは

1人1人のトリップの数を集計したものです。

対象となっているトリップは

平成11年10月時点で調査対象地域内に居住する5歳以上の人の1日（平日）の動きです。ただし、次のような動きは除かれています。

- ・近くの路上への動きや同一建物内、同一敷地内の動き等ささいな動き
- ・バス、タクシー、鉄道、船舶、航空機の乗務員としての動き

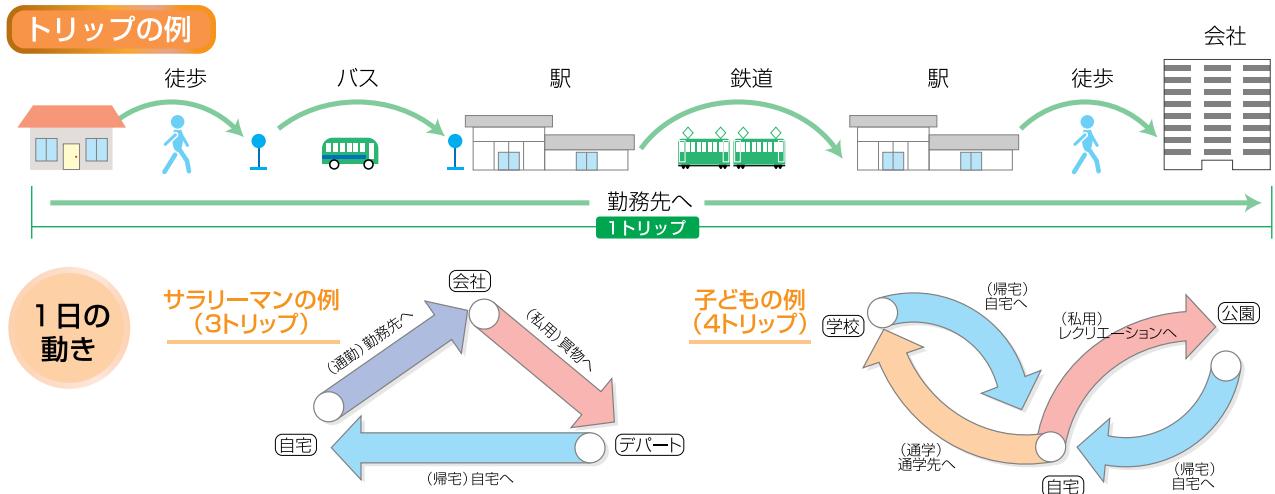
トリップの目的は

大きく次の5つに区分されます。

目的区分	トリップの性格
通勤	勤務先へ行ったトリップ
通学	通学先へ行ったトリップ
帰宅	自宅へのトリップ
業務	配達、会議、建設・農林漁業作業等のためのトリップ
私用	買物、食事、レクリエーション等のためのトリップ

代表交通手段とは

1回のトリップのなかで何種類かの交通手段を用いる場合、最も優先順位の高い交通手段を指します。優先順位は、鉄道、路面電車、路線バス、自動車、二輪車、徒歩の順とされています。下図のトリップの例では、鉄道が代表交通手段となります。



パークアンドライド（P&R）、キスアンドライド（K&R）とは

パークアンドライド（P&R）とは、都心周辺部や最寄りの鉄道駅等まで自動車で行き、駅周辺の駐車場に駐車（パーク）し、そこから鉄道等に乗車（ライド）する方法です。

また、キスアンドライド（K&R）とは、駅周辺の駐車場に駐車せず、家族など親しい個人に自動車で鉄道駅等まで送迎してもらい、そこから鉄道等に乗車する方法です。

なお、これらの方法は、目的地まで自動車を利用した場合に比べて、次のようなメリットがあります。

- ・都心部における自動車交通の混雑解消が図られます
- ・公共交通機関の利用促進が図られます
- ・自動車による排出ガスが減少し、地球環境や沿道環境の保全が図られます 等

パークアンドライド（P&R）の例



サイクルアンドライド（C&R）、サイクルアンドバスライド（C&BR）とは

サイクルアンドライド（C&R）、サイクルアンドバスライド（C&BR）とは、鉄道駅・バス停等まで自転車で行き（サイクル）、駅・バス停周辺の駐輪場に駐輪し、そこから鉄道・バス等に乗車（ライド・バスライド）する方法です。

これによって、公共交通の利用促進が図られます。

サイクルアンドライド（C&R）、サイクルアンドバスライド（C&BR）の例

